

2024 年 5 月 12 日

## 主日礼拝

《礼拝》

礼拝讃美歌⇒63 番（旧 183 番）（SK 姉）

『わが愛する主は』

聖書⇒詩編 45 編 8~10 節（MM 姉）

『神に従うことを愛し、逆らうことを憎むあなたに／

神、あなたの神は油を注がれた／

喜びの油を、あなたに結ばれた人々の前で。

あなたの衣はすべて／

ミルラ、アロエ、シナモンの香りを放ち／

象牙の宮殿に響く弦の調べはあなたを祝う。

諸国の王女、あなたがめでる女たちの中から／

オフィルの金で身を飾った王妃が／

あなたの右に立てられる。』

礼拝讃美歌⇒66 番

『わが主の御衣』

聖書⇒詩編 102 編 19 節（ES 姉）

『後の世代のために／このことは書き記されねばならない。

「主を賛美するために民は創造された。」』

聖書⇒マタイによる福音書 5 章 44 節

『だから、こう祈りなさい。『天におられるわたしたちの父よ、／御名が崇められますように。』

（祈）

共通讃美歌⇒510 番（旧 110 番）（RM 姉）

『まぼろしのかげをおいて』

《パン裂き》

聖書⇒コリントの信徒への手紙一 11 章 23~26 節（EK 兄）

『わたしがあなたがたに伝えたことは、わたし自身、主から受けたものです。すなわち、主イエスは、引き渡される夜、パンを取り、感謝の祈りをささげてそれを裂き、「これは、あなたがたのためのわたしの体である。わたしの記念としてこのように行いなさい」と言われました。また、食事の後で、杯も同じようにして、「この杯は、わたしの血によって立てられる新しい契約である。飲む度に、わたしの記念としてこのように行いなさい」と言われました。だから、あなたがたは、このパンを食べこの杯を飲むごとに、主が来られるときまで、主の死を告げ知らせるのです。』

（式）

礼拝讃美歌⇒149 番（旧 220 番）

『主イエスを覚えんため』

《建徳》

聖書⇒コリントの信徒への手紙一 12 章 1~11 節（NH 兄）

『兄弟たち、霊的な賜物については、次のことはぜひ知っておいてほしい。あなたがたがまだ異教徒だったころ、誘われるままに、ものの言えない偶像のもとに連れて行かれたことを覚えているでしょう。ここであなたがたに言っておきたい。神の霊によって語る人は、だれも「イエスは神から見捨てられよ」とは言わないし、また、聖霊によらなければ、だれも「イエスは主である」とは言えないのです。

賜物にはいろいろありますが、それをお与えになるのは同じ霊です。

務めにはいろいろありますが、それをお与えになるのは同じ主です。

働きにはいろいろありますが、すべての場合にすべてのことをなさるのは同じ神です。

一人一人に“霊”の働きが現れるのは、全体の益となるためです。ある人には“霊”によって知恵の言葉、ある人には同じ“霊”によって知識の言葉が与えられ、ある人にはその同じ“霊”によって信仰、ある人にはこの唯一の“霊”によって病気をいやす力、ある人には奇跡を行う力、ある人には預言する力、ある人には霊を見分ける力、ある人には種々の異言を語る力、ある人には異言を解釈する力が与えられています。これらすべてのことは、同じ唯一の“霊”の働きであって、“霊”は望むままに、それを一人一人に分け与えてくださる

のです。』

聖書⇒申命記 21 章 23 節

『死体を木にかけたまま夜を過ごすことなく、必ずその日のうちに埋めねばならない。木にかけられた者は、神に呪われたものだからである。あなたは、あなたの神、主が嗣業として与えられる土地を汚してはならない。』

聖書⇒マタイによる福音書 25 章 24~26 節

『ところで、一タラント預かった者も進み出て言った。『御主人様、あなたは蒔かない所から刈り取り、散らさない所からかき集められる厳しい方だと知っていましたので、恐ろしくなり、出かけて行って、あなたのタラントを地の中に隠しておきました。御覧ください。これがあなたのお金です。』主人は答えた。『**怠け者の悪い僕だ**。わたしが蒔かない所から刈り取り、散らさない所からかき集めることを知っていたのか。』

聖書⇒ヨハネによる福音書 6 章 9 節

『「ここに大麦のパン五つと魚二匹とを持っている少年がいます。けれども、こんなに大勢の人では、何の役にも立たないでしょう。」』

礼拝讃美歌⇒98 番（旧 187 番）（SK 兄）

『馬槽の中に』

礼拝讃美歌⇒395 番（旧 252 番）（YA 姉）

『慈しみ深き』

《建徳要旨》